

わたしたちのまちや生活はどうなるの？



施政方針って何？

施政方針とは、市政運営に当たり、市長がどのような考えや方針で市政を進めていくかを明らかにするものです。市を取り巻く諸情勢を踏まえながら、主要な施策の方向性について表明します。

6つの重点的な取組と令和8年度の主要な取組

子どもにやさしいまち

子どもの命と健康を守るための切れ目のない支援体制を構築するとともに、保護者の子育てに対する孤立感や不安感の解消につなげ、安全・安心な学校生活を送ることができるよう、学校教育環境の継続的な向上を図ります。こうした取組を総合的に推進し、子どもたちが地域において安心して暮らしていけるよう、「子どもが『ど真ん中』のまち」の実現に向けた環境を整えてまいります。

- PMH*1との連携によるシステム改修(マイナ保険証を活用した受診環境整備)
- 「こども誰でも通園制度」の実施(就労要件を問わない保育所などの利用)
- ベビーシッター利用支援事業の開始(多様化する保育ニーズへの柔軟な対応)
- 認定こども園へ移行する市内幼稚園への支援(待機児童対策の推進)
- 多胎児家庭支援事業の実施(健診時などのタクシー利用料金助成)
- 田無柳沢児童センターを「中高生特化型児童館」へ改修(中高生年代の居場所整備)
- 学童クラブタイムシェアの新規実施(田無小・東伏見小・本町小・住吉小)
- 田無第三中学校・保谷第一小学校の建替えに向けた基本計画などの策定(学校を核としたまちづくり)
- 小中学校普通教室の空調設備更新と増設
- 田無第二中学校のトイレ環境改善
- 給食調理室への空調設備設置
- 給食調理器具の更新(真空冷却器の導入、老朽機器などの更新)
- (仮称)特別支援教育推進計画の策定
- 音声出力会話補助装置などの導入
- スクールソーシャルワーカーの増員
- 中学校部活動の地域展開の推進



*1 PMH Public Medical Hub(パブリックメディカルハブ)の略であり、自治体、医療機関、薬局、市民を個人番号カード(マイナンバーカード)で連携するもの

健康で元気なまち

市民の皆さまが住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく自立した生活を送るため、心身の活力を維持するフレイル予防や社会参加を促進するとともに、年齢を問わない切れ目のないひきこもり支援の推進や、障害のある方が地域の中で安心して暮らし、社会に参加できる共生社会の実現を目指します。こうした取組を総合的に推進し、どのような年代や状況にある方であっても、地域の中で笑顔で、そして健やかに暮らし続けられる「健康で元気なまち」の実現に向けた基盤を整えてまいります。

- 高齢者補聴器購入費の補助開始(コミュニケーション支援とフレイル予防)
- 健康eスポーツ事業の拡充(オンラインによる地区別対抗戦の実施や「ねんりんピック」に向けた機運醸成)
- 下保谷福祉会館の浴場施設改修(多目的室としての再生)
- 認知症のケア技法「ユマニチュード*2」の普及・実践
- 在宅療養連携支援センター「にしわ」の体制強化(24時間365日の市内診療体制構築支援)
- 手話施策の推進(「手話の日」に合わせたライトアップなど)
- 窓口への字幕表示スクリーン導入(聴覚障害者などへの対応サポート)
- ひきこもり支援の推進(幅広い世代を対象としたプログラムの充実や講演会開催)
- 特定健康診査の受診率向上(個々の特性に応じたきめ細やかな受診勧奨)



*2 ユマニチュード 「あなたのことを大切に思っています」というメッセージを相手理解できるよう伝えるためのコミュニケーション技術

集える場とつながりのあるまち

市民の皆さまが心身の健康を保ち、まちへの愛着や誇りを育むことができるよう、多様な世代が集い憩える環境づくりを目指すとともに、地域活動の拠点において、デジタル技術も活用しながら誰もが利用しやすい居場所を整え、市民協働による歴史や文化の継承、そして誰もがスポーツに親しめる機会の充実を図ります。こうした取組を総合的に推進し、どのような世代であっても、地域の中で豊かなつながりを持ち、活気と笑顔があふれる「集える場とつながりのあるまち」の実現に向けた基盤を整えてまいります。

- 市民まつりへの支援強化(物価高騰などを踏まえた継続開催支援)
- 旭のかりん糖 西東京市スポーツセンターの大規模改修に向けた実施設計の実施
- 「さらっと」の体育室などの床修繕、武道場の畳替え
- 総合型地域スポーツクラブへの支援継続(障害者スポーツの推進・身近な地域でのスポーツ機会の拡充)
- 文化施設(タクトホームこもれびGRAFAREホール・J.COMコール田無・市民文化プラザ)の一体的指定管理者制度導入の検討
- 「したのや縄文の里 秋まつり」20回記念開催と市民協働の推進
- 下野谷遺跡の公有地化(用地取得の推進)
- 文化財保存活用懇談会の立ち上げ(市民が考える文化財の効果的な活用方法や情報発信などの意見交換)
- コミュニティセンターなどへの公衆無線LAN(Wi-Fi)整備(デジタル技術を活用した多様な市民活動のサポート)
- 保谷駅前公民館や図書館の空調機器更新
- 保谷庁舎敷地の活用(事業者による施設整備に向けた準備への着手)



西東京市の財政状況と令和8年度予算の概要

本市の財政状況は、令和6年度決算において、経常収支比率は前年度比2.2ポイント上昇の95.5%となり、財政調整基金残高は、前年度から5億3,420万円減の37億335万円、基金現在高比率は8.7%となりました。

今後の見通しとして、歳入面では市税収入などは堅調に推移すると見込んでいますが、歳出面では人件費や社会保障関係経費の増加、施設などの更新に加え、物価高騰の影響で財政負担が拡大しており、本市の財政は厳しい状況にあります。

令和8年度予算編成に当たっては、政策の4つの柱を発展させつつ、次

世代に形あるものを残していくために、SDGsの理念やスマートウエルネスシティの視点などを踏まえ、施設整備や道路整備のほか、施設などの老朽化対策に積極的に予算を配分しました。一方で、公債費管理の徹底や、歳入の確保などによる財政調整基金残高の確保など、持続可能な財政基盤の強化にも努めています。また、物価高騰への対応として、生活応援カードなどの経済対策の実施に向けた準備も進めています。

- 一般会計の当初予算額(案) 915億7,800万円(前年度比3.3%増)

令和8年度から新しくスタートする事業をピックアップ

奨学金返還支援事業
奨学金返還による経済的負担を軽減し、若者の生活支援を行います。

支援額
奨学金返還額の2分の1(1回当たり上限5万円・年間最大10万円)

主な要件
令和8年4月1日時点で29歳以下の方(大学等卒業後3年以内であること)
自らの名義で奨学金の貸与を受け、返還していること
西東京市公式LINEを友だち追加
市が実施するアンケートへの回答

高齢者間こえのコミュニケーション支援事業
補聴器購入による経済的負担を軽減し、高齢者の生活支援を行います。

支援額
補聴器本体の購入費用のうち4万円

主な要件
市内に住所を有し、満65歳以上の方(住民税非課税であること)
中等度難聴と診断された方
補聴器に詳しい耳鼻咽喉科医の診察を受けていること
市が実施するアンケート調査への協力

安心・安全で快適なまち

災害への備えを万全にするため、災害に強く、誰もが快適に移動できる都市空間の形成を目指すとともに、激化する豪雨災害への対策やインフラの老朽化対策、住宅の耐震化などを着実に進め、地域の防犯力を高める支援や、環境負荷の低減、都市の緑(みどり)の確保に向けた歩みを力強く進めます。こうした取組を総合的に推進し、どのような災害リスクや環境変化があっても、地域の中で命と暮らしが守られ、誰もが快適に過ごせる「安心・安全で快適なまち」の実現に向けた基盤を整えてまいります。

- 西武新宿線連続立体交差事業の推進(鉄道付属街路の用地取得)
- 東伏見駅周辺地区まちづくり基本計画の策定
- 都市計画道路3・4・17号線の予備設計着手(駅周辺のネットワーク構築)
- 田無駅南口交通広場道路築造工事への着手
- 都市計画道路3・4・24号線街路部および市道118号線の用地取得推進
- 都市計画道路3・5・10号線の事業認可取得(ひばりが丘団地交番前付近～谷戸新道)
- 「はなバス」車両更新とバスロケーションシステム導入準備
- 市南部地域における新たな移動手段の検討に向けた実証運行継続と検証の開始
- 公園指定管理者制度の市内全域への拡大(質の高い管理の実施と新たな魅力創出)
- 住吉森林公園用地の公有地化(都市のみどりの確保)
- 雨水溢水対策工事の実施(向台町一丁目地内、北町四丁目地内)
- 雨水管布設替えおよび雨水貯留浸透施設の整備(南町六丁目地内)
- 雨水溢水対策に向けた実施設計(下保谷二丁目地内、向台町二丁目地内)および調査(下保谷三丁目地内など)の実施
- 下水道施設の計画的な管更生工事と旧日特管の老朽化対策の実施
- 環境学習の充実(にしとうきょうの森の整備、北社市との合同による木工体験、森林整備を体感する活動の実施)
- 地球温暖化対策の実施(省エネルギー型機器買い換え助成の継続、クールシェアスポットの拡充)
- 廃棄物収集委託料の見直し(安定的な収集体制の維持)
- 指定収集袋(ごみ袋)へのバイオマス素材を導入した試験運用(CO₂削減効果等の検証)
- 消防団第5分団詰所の建替え工事の着手
- 防火貯水槽の設置(ひばりが丘北四丁目地内)
- 田無庁舎等の非常用自家発電機の更新・整備(業務継続性の確保)
- 防災行政無線設備の更新
- 木造住宅の耐震診断・改修等助成の拡充(上限額引き上げ・要件拡充)
- 分譲マンション耐震診断・改修等助成の拡充(上限額引き上げ)
- 一般緊急輸送道路沿道建築物への耐震診断・改修等助成制度の創設
- 防犯活動団体等への防犯カメラ補助の拡充(設置費に加え運用経費も補助)
- 住宅等の防犯対策助成制度の継続



市民とともに発展するまち

市民の皆さまとまちの未来をともに考え、持続可能な社会の担い手として活躍できるよう、多様な主体が連携・協働する環境づくりを目指すとともに、SDGsの理念のもと、次世代を担う若者たちが希望を持って市政に参画できる仕組みを整え、恒久平和を語り継ぐ活動や、地域経済を支える商工業・農業の活性化に向けた支援を強化します。こうした取組を総合的に推進し、どのような社会変革の中であっても、地域の中で一人ひとりの活力が引き出され、ともに未来を創り上げる「市民とともに発展するまち」の実現に向けた基盤を整えてまいります。

- SDGsをテーマとするプラットフォームの設置(多様なステークホルダーがつながり、課題認識や目指す将来像を共有する場の創設)
- 若者支援の実施(奨学金返還支援事業の開始)
- 若者の参加・参画機会の充実(若者会議の開催)
- 平和の担い手の育成(平和大使事業の実施、子ども・若者平和ワークショップの開催)
- ハンサムママプロジェクト10周年記念イベントの開催
- DX化推進事業の創設(市内事業者の経営課題解決支援)
- 商店街活性化推進事業の補助率拡充
- 商店街防犯カメラ等設置・運用経費への助成継続
- 農業用施設栽培促進支援補助金の拡充(ビニールハウス等整備費用の助成)



行財政基盤の強化を絶えず目指すまち

市民の皆様へ将来にわたり質の高い行政サービスを提供できるよう、持続可能で自立的な自治体経営の確立を目指すとともに、デジタル技術の積極的な活用や抜本的な業務の見直しを通じて、職員は職員でなければできない業務に注力できる体制を構築するとともに、窓口における快適な手続き環境の提供や、分かりやすい情報発信基盤の整備、魅力の発信による歳入の確保などを進めます。こうした取組を総合的に推進し、どのような社会課題や財政状況の変化に対しても、強固な財政基盤と柔軟な組織体制により、次世代に責任を持てる「行財政基盤の強化を絶えず目指すまち」の実現に向けた基盤を整えてまいります。

- 全庁的なBPR(業務改革)の推進(全庁業務量調査の実施)
- 市ホームページのリニューアル(利用しやすく、分かりやすい情報発信基盤の整備)
- システム標準化の推進
- マイナンバーカード専用窓口の設置(混雑緩和と待ち時間の短縮)
- 「書かないワンストップ窓口」実現に向けた取組推進(申請書・手続の簡略化)
- ふるさと納税の拡充(ポータルサイト掲載拡大・魅力ある返礼品拡充)



結びに

令和8年度の市政運営における主要な施策についてご説明申し上げました。これからも多くの市民の皆様と対話を重ねながら市政を前に進め、市民の皆様が西東京市に安心して暮らし、幸せを実感できるまちを目指し、市政運営に取り組んでまいります。令和8年度も、西東京市の発展に向けた歩みを止めることなく、全力で市政運営に臨んでまいりますので、市民の皆様ならびに市議会の皆様の変わらぬご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

西東京市長 池澤 隆史

